

1 つぎの文章を読んで問題に答えましょう。

放課後、雨上がりの空があおく光っていた。クラブが早く終わったぼくは、校庭の裏門へ回り道をした。濡れた土のおいが、もう少し歩きたい気分にしたのだ。水たまりには雲の切れ端がゆれて、カタツムリがゆっくりわたっていく。ぼくの足音だけが、小さく「びちゃ、びちゃ」と続いた。

裏門の外の細い路地を抜けると、小さな公園があった。ブランコ、すべり台、ベンチ、真ん中には大きないちちょうの木。見慣れた景色なのに、空気がふわっと揺れて、写真のピントが少しだけずれて見える。入り口の立て札には——ようこそ。「ぎづく人」のための公園——とあった。

いちちょうの根元には、小さな石の標(しるべ)が半分土にうもれていた。〈耳をすませば〉と浅い字。目で追った途端、葉の影がくると回って砂の上に丸い模様を描く。羅針(らしん)のような印は、ぼくの向きをそっと正してくれた。

ベンチの背には丸い札。〈ここに座ると、だれかの「心の声」が——ただけ風にのる〉。半信半疑で座ると、やさしい風といっしょに声が聞こえた。

——リコーダー、明日うまく吹けるかな。息が続かない。

ゆいの声だ。つづいて、別の小さな声。

——理科の発表、説明が長いって言われた。どこを短くする？

たぶん、りく。昨日、ぼくは急いで反対して、言い合いになった。胸がちくりと痛む。ポケットの中のノートの端が風でめくれ、「聞く」と書いた字が目に入る。ために小さくつぶやく。

「りく、昨日はごめん。やり直そう」

そのとき、いちちょうの葉がひざに落ち、細い文字が浮かんだ。〈あした、やり直そう〉。

顔を上げると、公園の時計が目に入る。数字はないのに、長針と短針がきれいに重なって止まっている。下の板には、〈この時計は「話したい時刻」を

指します〉とあった。今、向き合うときなのだ。ぼくの胸の中の見えない針も、かちりと重なった気がした。

公園には、ほかに合図があった。すべり台はのぼる段が多く感じるのに、すべると一気に地面へ着く。ブランコはこがなくても背中をそっと押してくれる。砂場のすみの水たまりは、学校の地図の形で、光る点は図書室の窓と重なった。水面は風でゆれ、図書室へ向かう矢印みたいに光がのびる。

「がんばれば進める、だれかが応援してくれる、図書室へ行け」——そんな意味に思えた。翌朝、りくは教室の前で言った。

「昨日はごめん。放課後、図書室で発表を直そう」

昼休み、ぼくはゆいの合図役になり、息をはくタイミングを手で示した。音はするするとつながる。

放課後に裏へ回ったが、公園の入口は見つからなかった。かわりに、いちちょうの葉が一枚、校庭で光っていた。ぼくはそれをポケットにしまう。ふと思う——「ぎづく人」って、特別な誰かじゃない。相手の小さな合図を見のがさないよう、耳と目と心をひらく人のことだ。

ふしぎな公園は、たぶん「だれかの声に気づこうとする心」がある場所に、いつでも開くのだ。そう思うと、教室のざわめきや運動場の笛の音まで、昨日より少しだけ澄んで聞こえた。



- (1) ぼくが回り道をした理由を三十字以内で書きなさい。

()

- (2) 「写真のピントが少しだけずれて見える」公園のよ
うすに近いものを一つ選びなさい。

- ① 不思議で現実から少し離れた感じ
- ② 古くこわれかけている感じ
- ③ まぶしくて見えない感じ

答え ()

- (3) ベンチの札に書かれていた文をそのまま書きぬ
きなさい。

()

- (4) 次の出来事を起こった順に並べかえなさい。

- ① 葉にへあした、やり直そうと文字が浮かぶ。
- ② ベンチに座って友だちの心の声を聞く。
- ③ 数字のない時計と説明を読む。

()

↓

↓

()

- (5) ぼくが「胸がちくりと痛む」のはなぜですか。
三十字以内で書きなさい。

()

- (6) 時計の針が重なって止まっていたことは、何を知ら
せていますか。最も近いものを一つ選びなさい。

- ① 遊び時間の合図
- ② だれかと向き合う時刻
- ③ 家へ帰る時刻

答え ()

- (7) 文章全体で作者がいちばん伝えたいこととして最
も適切なものを一つ選びなさい。

- ① 近道は危険だから通らないこと
- ② だれかの声に気づこうとする心の大切さ
- ③ 不思議な公園の場所をさがすこと。

答え ()

- (1) ぼくが回り道をした理由を三十字以内で書きなさい。

解答例)
濡れた土のおいが、もう少し歩きたい気分にした

- (2) 「写真のピントが少しだけずれて見える」公園のよ

- ① 不思議で現実から少し離れた感じ
- ② 古くこわれかけている感じ
- ③ まぶしくて見えない感じ

答え (①)

- (3) ベンチの札に書かれていた文をそのまま書きなさい。

ここに座ると、だれかの「心の声」が
一っだけ風にのる

- (4) 次の出来事を起こった順に並べかえなさい。

- ① 葉にへあした、やり直そうと文字が浮かぶ。
- ② ベンチに座って友だちの心の声を聞く。
- ③ 数字のない時計と説明を読む。



- (5) ぼくが「胸がちくりと痛む」のはなぜですか。三十字以内で書きなさい。

解答例)
りくと昨日言い合いになり、相手の
悩みを知って反省したから。

- (6) 時計の針が重なって止まっていたことは、何を知らせていますか。最も近いものを一つ選びなさい。

- ① 遊び時間の合図
- ② だれかと向き合う時刻
- ③ 家へ帰る時刻

答え (②)

- (7) 文章全体で作者がいちばん伝えたいこととして最も適切なものを一つ選びなさい。

- ① 近道は危険だから通らないこと
- ② だれかの声に気づこうとする心の大切さ
- ③ 不思議な公園の場所をさがすこと。

答え (②)